

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 7 月 5 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 6 月 28 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	トルコ共和国
留学先大学	中東工科大学(日本語名) Orta Dogu Teknik Üniversitesi(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	トルコ語/ 英語+トルコ語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～1 月上旬 2 学期: 2 月中旬～6 月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	23,000 人
創立年	1956 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (トルコリラ) (1 現地通貨 = 4 円)	B 日本円	備考
授業料	なし	1,200,000 円	交換留学のため明治大学の学費
宿舍費	25,000TL	100,000 円	月 10,000 × 10 ヶ月
食費	75,000TL	300,000 円	月 3 万 × 10 ヶ月
図書費	なし	なし円	図書館は無料
学用品費	なし	なし円	テキストはすべて PDF
携帯・インターネット費	7,500TL	30,000 円	3,000 円 × 10 ヶ月 (楽天モバイル)
現地交通費	なし	なし円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	なし	なし円	雑費にまとめて記載
旅費(留学中)	100,000TL	400,000 円	ヨーロッパ各国、ドバイ、カタール等
被服費	10,000TL	40,000 円	冬のコート、水着、大学のスウェット等
医療費	なし	なし円	病気等かからなかったためなし
保険費	なし	100,000 円	形態: 明治大学の保険
渡航旅費	100,000TL	400,000 円	ターキッシュエアラインズのため高い
ビザ申請費	2,500TL	10,000 円	
雑費	20,000TL	80,000 円	交際費等
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 2,660,000 円)	2,660,000 円	表はすべて換算済み。
総計(A+B) ※円		2,660,000 円	明治大学の学費込み。

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：アンカラ 経由地：イスタンブール

復路 出発地：イスタンブール 目的地：羽田 経由地：直行便

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ターキッシュエアラインズ 料金：150,000 円

復路 航空会社：ターキッシュエアラインズ 料金：170,000 円 ∴合計：320,000 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：スカイキャナー、ターキッシュエアラインズ公式サイト)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Refika Aksoy Yurt) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の紹介

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

初めは四人部屋で自分の空間がないことに戸惑ったが、ポジティブにとらえて、ルームメイトにトルコ語を教えてもらったり政治の話をしたりするなどいい経験とさせてもらった。ルームメイトや寮長、寮内のカフェテリアの人に恵まれてストレスを感じることなく過ごせた。特に寮のカフェテリアのオーナーには、チャイをおごってもらうなど良くしてもらった。自分から積極的にコミュニケーションを取ることで生活が充実する。ただほかの部屋は整頓されていなかったりラブラブルがあったりしたようなので、運がよかったと言える。部屋の掃除は毎日決まった時間に掃除のおばさんが来てくれる。声をかけると仲良くなれるので是非。一方、シャワーは固定式なので最初は不便に感じる。たまにお湯が温かくないことがある。トイレトーパーは自分で用意する必要がある。暖房はあるがエアコンがないので夏は暑くなる。日本の銭湯のようドライヤーが設置されていないので自分で持っていくか買う必要がある。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の旅レジに登録、現地の友人にヒアリング、大学に相談など

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内のインターネット環境(Wi-Fi)は快適。繋がらないことはめったにない。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

資金面は業務スーパー・ジャパンドリーム奨学金をいただいていたので問題なく生活に困らなかった。大学内やキャンパスの外のカフェや地下鉄でも日本のクレジットカードや Applepay が使えたので非常に快適。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

醤油、味の素、ごま油、かつおぶし、箸、自分の肌に合った化粧水、クレンジングオイル、ドライヤー、タオル、日本の薬等

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	☒ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
[TFL 271 Section 1] Beginning Turkish I		トルコ語初級
科目設置学部・研究科	Modan Language	
履修期間	秋学期	
単位数	4ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	DENİZ CANAN ATASOY	
授業内容	交換留学生向けのトルコ語の授業。内容は挨拶や自己紹介、数字の数え方など。	
試験・課題等	授業後の課題、単語クイズ、中間試験、期末試験	
感想を自由記入	先生がフレンドリーでやさしい。交換留学生だけなので、そこでトルコ人以外の友人を作ることできる。会話がが多いので気分転換にもなる。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
[ECON 208 Section 1] Social and Economic History II		社会と経済の歴史
科目設置学部・研究科	Economi	
履修期間	秋学期	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	MÜNİS SEVEN AĞIR	
授業内容	アダムスミスなどの古典的な経済学、経済史	
試験・課題等	毎週課題図書を読んでそれに関するクイズがある。他中間試験、期末試験。	
感想を自由記入	結構難しい。毎週リーディングがあるので大変。一方で世界史を高校時代にやっていたらある程度はついていける。現代経済学になると授業で日本がでてくる。受講者数 80 人と多めなので友達作りは作りにくい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
[PHIL 291 Section 1] History of Science I		科学の歴史
科目設置学部・研究科	Philosophy	
履修期間	秋学期	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	SAMET BAĞÇE	
授業内容	ギリシャ哲学、天文学の歴史、コペルニクスとガリレオ、ニュートン	
試験・課題等	中間試験、期末試験	
感想を自由記入	教授が気にかけてくれて優しい。授業の合間の休憩時間には一緒にタバコを吸うくらいよくしていただいた。履修者も 30 人ほどと少なく、クラスになじみやすい。内容は難しいが試験は簡単で成績は AA を取ることができた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
[FLE 285 Section 1] Language and Culture		言語と文化
科目設置学部・研究科	foreign language education	
履修期間	春学期	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	ÖZNUR ALVER	
授業内容	ジェンダーや宗教など様々なトピックに対して文化・言語的側面から議論を行う。	
試験・課題等	毎週のミニクイズ、中間試験、期末試験	
感想を自由記入	先生が優しい。ヨーロッパ横断型のプログラムで、トルコだけでなく、遠隔でスペインやアゼルバイジャンにいる友人たちとコミュニケーションを取ることができる。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
[PES 2964 Section 1] Orienteering		オリエンテーリング
科目設置学部・研究科	fisical education and sports	
履修期間	春学期	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	フィールドワーク(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	NERMIN FENMEN	
授業内容	ヨーロッパで有名なオリエンテーリングというスポーツを座学から実戦で学ぶ。	
試験・課題等	実技試験が 2 回と、筆記試験が一回。	
感想を自由記入	グループを作ってキャンパス内の森を歩いたり、ピクニックをしたり、先生もとてもフレンドリーで楽しい講義でした。参加している学生も 15 人前後と少なく、仲良くなりやすかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
[PES 2905 Section 1] Golf	ゴルフ
科目設置学部・研究科	physical education and sports
履修期間	春学期
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 240 分が 1 回
担当教授	ATAY MAÇ
授業内容	ゴルフのルールやスコアの数え方などを講義形式で学ぶ。
試験・課題等	中間試験と期末試験が記述形式でそれぞれ一回ずつ。期末試験後にはパターの実技テストもあり。
感想を自由記入	日本ではなかなかとることのできない面白い講義でした。私はゴルフの実技が多めなのかなと期待していたのですが、9 割が講義形式なのでギャップもありました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

ワンキャリア(面接対策)、ビズリーチキャンパス(OBOG 訪問)、Twitter

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

内定先:三菱 HC キャピタル。就職希望業界:総合商社、大手リース、大手日系メーカー。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の
変化等を教えてください。

私は3年生の夏から就職活動をしていました。夏インターンシップに参加すると本選考で優遇がもらえたり、企業に印象を残したりできるからです。私は総合商社や海外比率の高い日系メーカーなどを見ていました。留学してトルコが大好きになり、また仕事で戻ってきたいという想いが強くなりました。特に商社はトルコに支店があることが多いので、五大商社を第一志望に就活をしていました。面接の中でトルコ留学の話が受けましたし、他の学生と差別化できるのでおすすめかもしれません。丸紅、伊藤忠、PwC コンサルティング、内定先のインターンは参加することができました。また、帰国してからも夏選考で総合商社を受けており、最終面接まで進むことができました。面接もオンラインで柔軟に調節してくれる企業が多く、最終面接もオンラインで内定することができた企業もありました。ロンドンキャリアフォーラムやボストンキャリアフォーラムも時間があればチャンスなので、参加してみるのもおすすめです。企業は事情をくんでくれることが多いので、商社など難しい企業にも挑戦してみてください!

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	特になし
	4 月 ～ 7 月	特になし
	8 月 ～ 9 月	TOEFL の勉強、TOEFL 受験
	10 月 ～ 12 月	業務スーパー奨学金書類準備、学内選考書類準備、面接対策
留学開始年	1 月 ～ 3 月	業務スーパー奨学金面接(合格)
	4 月 ～ 7 月	夏インターン応募開始
	8 月 ～ 9 月	出国前夏インターン数社参加、寮申し込み、履修登録
	10 月 ～ 12 月	中間試験、冬インターン応募
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末試験、冬インターン参加、3 月～本選考→数社内定
	4 月 ～ 7 月	中間試験(4 月上旬)、期末試験(6 月末)
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がトルコの中東工科大学を選んだのは、協定校リストを眺めていた時に「なんかいいな」と直感的に感じたからです。ここで10ヵ月過ごしてみて、あの時感じたことは間違っていなかったと思います。心からトルコを選んでよかったです。「トルコ」というと、まだ発展していないのかなとか政治的に不安定で怖いなという印象を抱くかもしれません。私も初めはそうでした。飛行機に乗る直前、本当にここに行くのかとドキドキして、不安で手汗が止まりませんでした。今でもはっきり覚えているのですが、9月17日の午前11時にアンカラの空港に着きました。出口に行くと大学までのバスに乗らなければいけませんでした。どのバスか分からなかったので近くの人に渾身の英語で「Which bus goes to METU?」と聞きました。しかし、英語が通じなかったのが衝撃でした。そこで初めてトルコでは英語が通じないと悟り、この先どうやって生活していくのか分からず、泣きそうになりました。寮に着いてからも、どんなルームメイトなのか、どんなご飯があるのか、不安なことはたくさんありました。ドライヤーも忘れるし、持ってきた変圧器は壊れてパソコンは使えないし、最悪の気分で、留学初日に「もう帰りたい」と、めっちゃくちゃ泣いていたのを今でも覚えています。でもやるしかなかったんです。ここを選んだのは自分です。何時間も泣いた後に色々なことが吹っ切れました。

私が一番うれしかったのは、私がトルコ語を話すとき、頑張っただけで覚えようと理解しようとするとき、トルコ人の人たちが喜んで笑顔で応えてくれたことです。大学の学生だけでなく、教授たち、トルコ語の先生、街で会う色々な人。本当に皆に親切にしてもらいました。旅行もたくさんしました。ヨーロッパ各国にはイスタンブールから3〜4時間で行くことができます。サウジアラビアやカタールなども近く、トルコ以外の経験もできます。現地で作った友人達の実家がイズミールやイスタンブール、ブルサにあったので、長期休暇の際には宿泊させてもらいました。それ以外にも、同じタイミングでヨーロッパ周辺に留学している大学の友人たちと一緒に世界旅行をしたり、中東工科大学の友人たちと週末にスイミングに行ったりルームメイトとアンカラを観光したり、非常に恵まれて充実した生活を送ることができました。この一年間に関わってくれたすべての人に感謝したいです。ありがとうございました。

まだまだ書きたいことはたくさんあるのですが、私は「自分で興味を持ったこと、自分の心が感じ取ったことに素直に従ってみることを大事にしていますし、それを正解にするのは自分の行動とマインドセットだと考えているので、他の人が選ばない面白い選択肢にワクワクする方、トルコに興味を持った方は是非行ってきてください。